

荘内まなびスタイル（先行学習を基盤とした協同学習）

【先行学習】
スタディサプリ等の先行課題による自己調整

【授業】協同学習
学習内容の深化
主体的・対話的で深い学び

【振り返り】
自主的な学習内容整理
学びの深化課題

【学習課題】
先行学習課題
自主学習課題
思考整理課題
振り返り課題
プレゼン課題
記憶徹底課題
単元末テストへの学習

効果的な学習PDCAサイクル展開

2か月サイクル学習

【学力診断テスト】認知能力の状況把握（「まなトレ」授業、9月学習強化月間）
テスト期間設定でテストに向かう力の育成（年間：1年4回・2年5回・3年6回）

SHONAIみらい学の推進

【総合的な学習の時間】（3年間プロジェクト学習推進）
・金融金銭教育、地方創生、平和、環境、福祉、災害、人権、起業家探求等の観点でプロジェクト学習を推進
・SDGs探究学習、キャリア探究学習を2本柱に推進

【学級活動の時間】
・ENAGEED社提供教材によるキャリア探究学習
・進路学習その他の学習内容を統一

【こみゆトレ】（コミュニケーショントレーニング）
異年齢や社会人との交流活動推進（運営は学プロ）
幼児交流、小学生交流、大学生交流、社会人交流

玉野市立荘内中学校 生徒が主役の学校教育創造



【教育目標】
主体的に学び、主体的に行動する生徒の育成
～志を胸に自らを律しながら、未来創造へ挑戦していく生徒～

キャリア教育の視点で教育DXを徹底推進

【学習における端末活用充実】
・クラウド課題の充実（ペーパーは最低限）・スタディサプリ、ミライシード等を徹底活用・授業内での端末活用は常識（学習効果を検討）・アウトプット活動の重視

【各種活動での端末活用充実】
・生徒会や学プロの活動でクラウド連絡やWeb会議を奨励（効率の良い運営）・家庭でも活動可能

【日頃の生活に端末活用を定着】
・毎朝の予定や指示内容確認、体調チェックやメンタルチェック入力等で自己管理能力を定着
・家庭での端末活用ルールの徹底・「ねっトレ」（情報モラル教育授業）の徹底

教育DX推進で教職員働き方改革

【業務改善で持続可能な学校現場を構築】
・Google徹底活用で業務の効率化を推進・自主的業務効率化
・時間外在校等時間の適切な自己管理

学校教育活動を支える取組

【PTAサポーター制度】
学校支援に取り組む希望制の自主的組織

生徒会員の組織化による自治活動推進

【生徒会活動】
自治組織である生徒会活動の活性化（行政）
・自治活動時間の増加
・予算編成の充実
・学級組織との連動
・生徒会員生活規則（校則の廃止）

【学校生活向上プロジェクトチーム「学プロ」】
学習や生活を向上させるボランティア組織（地域自治会）
・学力向上活動
・生活改善活動
・その他レクリエーションやボランティア企画

【各種実行委員会】
委員会等と協力し、学校行事を企画運営する一時組織（体育会、合唱コン、校外行事、修学旅行、卒業式等）

【生徒会会議】
生徒総会（年2回）、臨時生徒総会
生徒会定例会（毎月開催全校生徒参加）

【学級会活動】
自治組織としての学級組織の運営（各委員が各係・当番を総括）

【学年団経営・学級経営】
全クラスが同じ運営方法で教育効果を向上
学級集団を「課題解決型集団・共生集団」へ育成

教職員がルールを敷かない教育活動

多様な学びの場の整備で「みんなの学校」

【特別支援教育の充実】
・オンライン授業参加を保障（朝希望を入力）
・「ほっとルーム」設置（エンパワーメント・ルーム）
・通級指導教室「スマイル教室」の運営（市内中学校初）
・特別支援学級の指導充実
・教育支援計画の運用による支援PDCAサイクルを展開

中学校区で一貫教育保育・地域とともにある学校づくり

【学校運営協議会】（CS）
地域とともにある学校づくりを推進する組織（生徒も参加）

【中学校区連携部会】
幼保小との連携を密にし、一貫教育を充実させていく。